



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月26日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <https://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部経理部長 (氏名) 小和田 収 (TEL) 03(5288)8406
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,226	19.9	3,470	55.0	3,973	67.5	2,703	49.1
2022年3月期第1四半期	21,036	14.8	2,239	64.7	2,372	50.0	1,813	44.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,238百万円(35.7%) 2022年3月期第1四半期 3,861百万円(811.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 33.53	円 銭 33.42
2022年3月期第1四半期	22.41	22.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 125,964	百万円 98,454	% 77.9
2022年3月期	122,577	94,337	76.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 98,117百万円 2022年3月期 93,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 26.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期の配当予想につきましては、業績予想の算定が困難であるため未定としておりましたが、2023年3月期の業績予想の算定に伴い、上記のとおり公表いたします。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	16.6	12,000	23.3	12,500	23.4	8,800	39.5	109.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	82,623,376株	2022年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,015,801株	2022年3月期	2,025,709株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	80,604,292株	2022年3月期1Q	80,901,294株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ紛争の長期化や中国における経済活動抑制の影響などによる原材料の価格上昇や供給制約に加え、金融資本市場の変動等により、先行きに不透明感が増しました。米国では景気の持ち直しが続きましたが、資源価格高騰などによりインフレが進行しました。欧州ではエネルギー調達が厳しくなり、景気減速の懸念が高まりました。アジアでは中国で経済活動抑制の影響が残り景気回復に足踏みがあるものの、インド及びアセアン地域では景気が持ち直しました。

日本経済は、企業の設備投資及び個人消費が持ち直している一方、生産は回復に足踏みがみられ、輸出は横ばいの状況が続いています。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車関連産業の需要は横ばいでしたが、半導体産業や電子部品産業の需要の拡大が続き、全体として好調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開し、生産・供給体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は252億26百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は34億70百万円（前年同期比55.0%増）、経常利益は39億73百万円（前年同期比67.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億3百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、自動車産業の部品調達不足等により、自動車関連入力デバイスの出荷が伸びず、全体として売上は前年並みとなりました。

入力デバイスは、薄型ノートパソコン用タッチパッドの出荷は堅調でしたが、自動車向けキースイッチの出荷が伸び悩み、全体として売上は前年並みにとどまりました。

ディスプレイ関連デバイスは、液晶接続用コネクタ及び視野範囲／光路制御フィルム（VCF）の出荷が堅調に推移して、全体として前年並みの売上げとなりました。

コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタ及び自動車用ワイパーの出荷が堅調に推移して、売上げは増加しました。

この結果、当事業の売上高は56億円（前年同期比0.0%増）、営業利益は3億68百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器やOA機器用部品、シリコーンゴム成形品の好調な出荷が続き、全体として売上は前年を大幅に上回りました。

半導体関連容器は、半導体産業の旺盛な需要を背景に300mmウエハー用出荷容器などの出荷が好調に推移し、全体で売上げを大幅に伸ばしました。

OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用ローラの出荷が順調に伸びて、売上げは大幅に増加しました。

キャリアテープ関連製品は、微細電子部品用の出荷が伸び悩み、売上げは横ばいでした。

シリコーンゴム成形品は、新型コロナウイルス感染症患者の減少により通常の手術が増加し、主力のメディカル関連製品の出荷が回復し、全体として売上げを伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は114億20百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益は26億92百万円（前年同期比66.3%増）となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、販売価格改定やM&Aにより、全体として売上げは前年を大幅に上回りました。

ラッピングフィルム等包装資材関連製品は、株式会社キッチニスタの連結化により、売上げは大幅に増加しました。

塩ビパイプ関連製品は、塩ビ価格高騰による販売価格改定により売上げは前年を上回りました。

機能性コンパウンドは、自動車用途の需要が減速した一方、ロボットケーブル用途が好調で、新規顧客への拡販も進み、売上げが大幅に伸びました。

外装材関連製品は、需要が伸び悩んだものの、販売価格改定が進み、全体として売上げは前年並みとなりました。

導電性ポリマーは、ディスプレイ用途及び自動車用電子部品用途の受注が増え、売上げが伸びました。

この結果、当事業の売上高は64億78百万円（前年同期比34.3%増）、営業利益は3億22百万円（前年同期比39.4%増）となりました。

④ その他

工事関連では、店舗用設備の入荷遅延の一部が解消し、商業施設や公共施設の内装工事が進み、全体として売上げは前年を大幅に上回りました。

この結果、その他の売上高は17億27百万円（前年同期比28.0%増）、営業利益は85百万円（前年同期比71.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内外の経済環境につきましては、ウクライナ紛争の長期化の影響などによる原材料価格の高騰や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクなど、先行きが不透明な状況は継続するものと思われま

す。このような状況において、当社グループといたしましては、国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を展開してまいります。また、新型コロナウイルス感染症に対する従業員の感染防止のための徹底した衛生管理と働き方の工夫を行い、感染者発生時の即応体制を整えるとともに、万が一の操業停止などに備えたBCP強化を進めてまいります。

2023年3月期の連結業績予想といたしましては、売上高1,080億円、営業利益120億円、経常利益125億円、親会社株主に帰属する当期純利益88億円としております。また、配当予想につきましては、1株当たり年間配当金は前期に比べ10円増配の36円（第2四半期末18円、期末18円）としております。

なお、2023年3月期の連結業績及び配当の予想につきましては、本日、別途「2023年3月期 連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」においても開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,749	46,948
受取手形、売掛金及び契約資産	22,525	23,432
電子記録債権	2,571	3,201
商品及び製品	8,152	9,103
仕掛品	1,720	1,887
原材料及び貯蔵品	5,025	5,623
未収入金	1,911	1,817
その他	583	1,062
貸倒引当金	△293	△303
流動資産合計	90,945	92,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,965	9,165
機械装置及び運搬具（純額）	5,243	5,306
土地	6,864	6,914
建設仮勘定	4,049	5,134
その他（純額）	2,041	2,069
有形固定資産合計	27,164	28,590
無形固定資産		
ソフトウェア	114	130
のれん	1,574	1,534
その他	612	713
無形固定資産合計	2,301	2,377
投資その他の資産		
投資有価証券	895	907
繰延税金資産	293	306
その他	977	1,010
投資その他の資産合計	2,165	2,224
固定資産合計	31,632	33,192
資産合計	122,577	125,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,817	13,838
電子記録債務	2,885	2,945
未払金	2,906	1,162
未払法人税等	1,670	1,074
未払費用	2,081	2,134
賞与引当金	1,506	1,007
役員賞与引当金	31	8
その他	1,808	2,442
流動負債合計	25,707	24,613
固定負債		
退職給付に係る負債	1,303	1,304
その他	1,229	1,591
固定負債合計	2,533	2,896
負債合計	28,240	27,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	73,670	75,246
自己株式	△1,988	△1,979
株主資本合計	94,036	95,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	297
為替換算調整勘定	△357	2,183
退職給付に係る調整累計額	12	13
その他の包括利益累計額合計	△41	2,494
新株予約権	341	337
純資産合計	94,337	98,454
負債純資産合計	122,577	125,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	21,036	25,226
売上原価	14,274	16,760
売上総利益	6,762	8,465
販売費及び一般管理費	4,523	4,995
営業利益	2,239	3,470
営業外収益		
受取利息	25	27
為替差益	70	445
その他	48	39
営業外収益合計	144	512
営業外費用		
支払利息	4	6
その他	7	2
営業外費用合計	11	9
経常利益	2,372	3,973
特別利益		
新株予約権戻入益	27	2
特別利益合計	27	2
税金等調整前四半期純利益	2,399	3,975
法人税、住民税及び事業税	424	971
法人税等調整額	162	300
法人税等合計	586	1,272
四半期純利益	1,813	2,703
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,813	2,703

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,813	2,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△6
為替換算調整勘定	2,068	2,541
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	2,048	2,535
四半期包括利益	3,861	5,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,861	5,238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,598	9,264	4,823	19,687	1,349	21,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,598	9,264	4,823	19,687	1,349	21,036
セグメント利益(営業利益)	338	1,618	231	2,189	49	2,239

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,600	11,420	6,478	23,499	1,727	25,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,600	11,420	6,478	23,499	1,727	25,226
セグメント利益(営業利益)	368	2,692	322	3,384	85	3,470

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。